



医療法人 成精会

刈谷病院

## 亥年の抱負

院長 平野 千晶



皆様、明けましておめでとうございます。今年も刈谷病院をよろしくお願ひいたします。

今年、平成19年。干支(えと)は、亥(イノシシ)です。「猪突猛進」などと言いますね。刈谷病院もイノシシのように、地域医療の実践を進んで、いく年(19年)にし

たいと考えております。

「地域医療」というのは、患者さんの家庭・地域での生活を大切に医療を進めていくことをいいます。精神科の治療は、これまで長く入院治療が中心でした。精神的に不安定になった方をなかば強引につれてきて長期間入院させて治療する。そんな恐ろしくて暗いイメージをひきずってきたのです。

入院によって患者さんを社会からひき離すことをできるだけ避けて、なるべく外来の治療でがんばってほしい。もし、入院がどうしても必要になった時でも、入院治療は必要最低限にして、できるだけ短期間で地域での生活に戻ってほしい。刈谷病院の職員は、そういう気持ちでこれまでがんばってきました。一人ひとりの患者さんが入院してから退院するまでの日数の平均値を「平均在院日数」といいます。平成17年の刈谷病院の平均在院日数は、165日でした。これは、全国的に見ても自慢できる数値であると考えています。

今年、このような地域医療の実践を、さらに発展させたいと思います。

そのために、これまでと同じ様に看護や治療のレベルを高めていくという地道な努力を続けていくことはもちろんですが、更に、本院が行っている様々な業務やサービスについて、患者さんやご家族、更には地域の皆さんにもっと知ってもらい、利用していただけるような環境を整えていきたいと考えています。特に、デイ・ケアと訪問看護は、これからの地域中心の精神科医療を担っていく上で期待されている業務です。

デイ・ケアは、地域で暮らす患者さんが定期的に通って、そこで日中の時間を過ごしてもらい、生活の訓練や仲間作り、居場所として利用していただくサービスです。気軽に参加しやすく、参加された方が達成感のもてるような運営の工夫や、参加することで就職などの社会参加のチャンスが増えるようなプログラム作り、職員は日夜励んでいます。もっともっと

多くの皆さんに利用していただきたいと思います。

訪問看護は、精神科看護・福祉の経験を積んだ職員が、患者さんのご自宅までうかがって、服薬の指導や生活上の相談相手など様々な支援を行うサービスです。患者さんを直接お世話するだけではなく、患者さんや家族と共に考えながら、患者さんの病状や悩みを病院の他の職員や役場の職員などに伝えて、患者さんや家族への地域の支援の輪を拡げていく役割を果たしています。

成精会訪問看護ステーションH.E.J.は、平成17年10月に設立されました。刈谷病院と同じ「医療法人成精会」に属していますが、刈谷病院とは別の独立した事業体として運営されています。刈谷病院は本体事業として、訪問看護ステーションで活躍できる人材の育成とステーションとの良好な連携につとめて、地域の要請に応えていきたいと考えています。

精神科の治療では、患者さんやご家族との長い関わりとなることが多くあります。そのため、患者さんやご家族の生活全般を考えた、援助が大切になります。病気のことだけに目をうばわれていては、患者さんや家族が本当に安心して生活していただくことは、難しいのです。しかし、医療機関である病院だけで、患者さんやご家族の生活の全部を支えていくことは、とても不可能です。そこで医療の枠を超えた、地域との連携(ネットワーク)が必要になってきます。昨年7月1日、市民の会である「精神障がい者・その家族が安心して夢を持って暮らせるまちづくりの会(通称:あん・くら・夢ネットの会)」が、西三河地域に誕生しました。私も含め刈谷病院職員の有志が、「一市民」という立場でこの会の運営に参加しております。

以上のように、今年も地域医療の発展を目指して進んでまいります。刈谷病院に、ご期待ください。

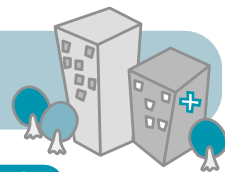
### 豊かな心、こまやかな関わり、最新の医療

#### 当院の理念

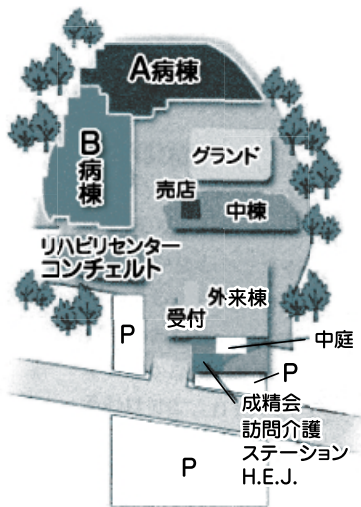
- ① 患者さんに差別のない目、ゆとりのある態度で接すること
- ② 患者さんに、患者さんの立場にたった思いやりのある態度で接すること
- ③ 従来の自分たちの治療に満足せず、常に新しい医療に目を向け、より良い治療を目指すこと

#### 当院の基本方針

- ① 病気と治療に対する十分な説明と了解のもとに医療を実践します
- ② 精神科救急に積極的に取り組みます
- ③ 精神科リハビリテーションに積極的に取り組みます
- ④ 地域生活支援に積極的に取り組みます
- ⑤ 地域の医療機関、行政、福祉施設等との連携に積極的に取り組みます
- ⑥ 精神保健医療福祉についての啓蒙活動に積極的に取り組みます
- ⑦ 職員の研修と研鑽に積極的に取り組みます



## 各病棟紹介



▲病院平面図

### A病棟

- A1 開放病棟
- A2 閉鎖病棟

### B病棟

- B1 閉鎖病棟で高齢者の方が多くみえます
- B2 閉鎖病棟で精神科急性期病棟。原則的に入院期間は3ヶ月以内
- B3 閉鎖病棟。アルコールリハビリテーションプログラムがあります

※いずれの病棟も男女混合病棟で、個別開放に取り組んでいます。

## 面会について

当院の外来受付にてお申し出頂きますと面会ができますが、患者さんの症状によっては、医師の指示で一時的に面会をご遠慮頂いたり、面会者及び面会時間を制限することがあります。

面会時間は、13:00～16:30となっておりますが、ご家族の事情によっては面会時間以外でも面会ができます。

## 外出／外泊について

症状に応じて、患者さんの行動範囲が異なります。院外への外出や外泊は、家族の付き添いが必要となる場合があります。

## 郵便物について

郵便物の制限はありません。ただし、手紙に何らかの品物が同封されているとみなされる時は、職員の立ち合いのもとで患者さん自身に開封して頂き、品物によっては病院が預かる場合があります。

## 電話について

原則的に制限はありませんが、患者さんの病状に応じて医師の指示で一時的に制限されることをご了承下さい。しかし人権を擁護する行政機関の職員や患者さんの代理人である弁護士との電話は制限されることはありません。

病棟ではカード式公衆電話がご利用頂けます。  
※携帯電話の使用はご遠慮して頂いています。ご協力お願いします。

## 病棟生活について

### 【必要な物品】

衣類、洗面用具（髭剃りも）、入浴用具、履物（上下履き・運動靴）、洗濯用具（病棟にはコインランドリーがありご利用が出来ます。食事の箸は病院で用意します。）

### 【病室】

私物の収納スペースが少ないため、必要最低限の荷物をお願いします。基本的には大部屋（3人以上）ですが、各病棟には個室・2人部屋（個室料1575円～8400円）もあります。ご希望される方はお申し出下さい。



### 【食事】

食事時間	朝食	昼食	夕食
	7:45～	12:15～	18:00～

### 【入浴】

各病棟に浴場が設置されています。ただし入浴時間帯は各病棟それぞれ異なります。

### 【貴重品】

原則としてご自身による管理をお願いしていますが、病状によっては、看護者が協力させていただきます。紛失等されないために貴重品ロッカーをご利用ください。（ロッカーキーはナースステーションで保管する事も可能です。）

### 【家族面接】

病状の経過や治療方針、心配事などについて主治医より説明を受ける事が出来ます。ご希望の場合は、病棟看護者にお申し出下さい。

### 【その他】

- ・ゴミは刈谷市の指導により分別収集しておりますので、ご協力をお願いします。
- ・喫煙は防災上、所定の場所で行ってください。
- ・病棟の起床時間は6:00で、消灯時間は21:00となっております。（テレビは22:00まで）



# 知っておきたい 精神科 基礎知識 うつ病

気分が沈み込み、気力や興味が失せたりして、日常生活に支障が出てくる病気がうつ病です。一生の間にうつ病にかかる人の割合は、日本では約6%~10%と言われており、まれな病気ではありません。年代を問わず男女共にかかり得る病気ですが、女性の比率が高いとされています。

何のきっかけもなく発病することもあります。ストレス状況が引き金になることが珍しくありません。その状況として、親しい人との死別や別れ、転居や転勤などの環境変化、家庭や仕事での負荷の増大、人間関係の葛藤、健康面や金銭面における不安などがあげられます。

うつ病は、こころと体の両面にわたってエネルギーが低下してくる病気で、身に様々な症状が現れます。こころの症状としては、①**気分の沈み込み**、②**意欲**

の低下や興味の消失、③**生き生きとした感情の消失(楽しみも悲しみも感じない)**、④**不安やいらいら感**、⑤**集中力や記憶力の低下**、⑥**決断力の低下**、⑦**悲観的な考え**、⑧**自責感(自分を責める)**、⑨**死への思い**などが挙げられます。時に現実にはそうでないにも関わらず「一文無しになってしまった」、「大変な罪を犯してしまった」、「不治の病にかかってしまった」などという考えを抱くこともあります。身体に起こる症状としては、①**睡眠障害(不眠または過眠、朝早く目が醒めてしまうタイプの不眠が多い)**、②**食欲低下または増加(低下が多い)**、③**疲れやすさ**などをはじめ、**頭痛、胃のもたれ、めまい、しびれ、肩や首のこり、胸の圧迫感、のどの詰まり感、動悸、耳鳴り、便秘や下痢**など多彩な症状がみられます。

治療は薬物療法と休息が基本です。それに加え、ストレスとなっている環境を調整する、物事の捉え方や対処の仕方を変えてみる、ということも有用です。使用する薬は抗うつ薬が主体で様々な種類がありますが、いずれの薬も効果が出始めるのに2~3週間はかかります。また、症状がすっかりよくなってからも半年から1年くらいは病気のぶり返しを防ぐために抗うつ薬の量を減らさずに服用し続けるのが良いとされています。症状の改善には3ヶ月から半年を要するとされることが多いのですが、治療開始2年後にも症状が続いている患者さんが20%ほどいるといわれ、人によっては長くかかることがあります。しかし、うつ病は治療によってよくなる病気です。そのことを忘れずに治療を続けていくことが必要です。

(医師 富田悟江)



## ご意見 ありがとうございます! ごぞいます!

意見箱から

刈谷病院では平成18年7月より、病院玄関入り口、リハビリテーション棟、各病棟に意見箱を設置いたしました。病院をより良くしていく為に、皆様より広く御意見を承り、できる限り御要望にお応えできるよう、努めてまいります。

現在までもたくさんの御意見を頂いております。その中でも多く御意見を頂きました駐車場と待合室について、返答させていただきます。

(業務改善委員会 佐橋勇治)

**Q** 駐車場が混雑していたり、狭くて停められないことがあるのですが…。

**A** 当院では立地条件から皆様に十分な駐車場をご用意することは今後も難しい状況です。現在は職員用の駐車スペースを別に用意するなど、緩和に努めている状況です。当院では少しでも多くの方の利用を可能にするため、できる限り公共交通機関での通院をお願いしております。また刈谷駅からは刈谷市営の無料バス(刈谷駅北口~ひまわり前)を利用させていただくことも可能です。公共交通機関の時刻表など、外来窓口にてご用意しております。御利用下さい。

**Q** 待合室が狭く暗い雰囲気、座りにくいと感じています。

**A** 建物の老朽化により、皆様に御迷惑をお掛けする結果となってしまっております。また多くの患者さんに通院して頂いていることもあり、狭く座りにくい状況となっております。もし診察待合中気分が悪くなられた場合などは、窓口までお気軽にお申し出下さい。当院では少しでも快適に受診していただけるような環境を目指し、今後建物の修繕と共に、待合室の椅子の配置など検討していく予定です。御迷惑をお掛けしますが、御理解・御協力の程をお願い申し上げます。

# カンタン簡単レシピ

～レンジ料理1品でバランスよく～

## 塩ざけときのこのレンジ蒸し

カロリー136kcal  
(一人分)



【材料】一人分

- 塩ざけ…切り身1切
- 人参 ……少々
- キャベツ ……1枚
- しょうが ……少々
- えのき ……1/6袋
- 味ぽん ……大さじ1
- ねぎ ……1/2本

カロリー控えめ!

★野菜もたっぷりとれて、单身の方でも簡単に作れる料理を考えてみました。ぜひお試しください!

(管理栄養士 西香織)

- 作り方**
- ①えのきは根元(石づき)を切ってほぐす。人参・しょうがは、千切りにしキャベツは小さく切る。ねぎはななめ切りにする。
  - ②皿(レンジ使用可)に塩ざけをのせてから、①をのせ、味ぽんをふりかける。ラップをかけて電子レンジで6～7分加熱する。
  - ③出来上がったら、そのまま食卓へ。

※さけは、ビタミンDを多く含み、カルシウムやリンの吸収を高める効果があり、骨粗しょう症の予防に効果的な食品です。また、たんぱく質も多く他の魚肉より消化・吸収の良のが特徴です。

### ワンポイント

さけをタラやかじきなど他の魚に変えたり、好みの野菜にしたりバリエーションを増やしてもいいですね!また、アルミホイルを使ってオーブントースターで焼くと野菜の甘みがでて美味しくなるので、おすすめです!

# カリヤ病院物語

作画: Qちゃん

注: このマンガはフィクションです。



現在の医療の現場では医療技術の進歩に伴い、どんな治療を受けるのかという選択肢が増えてきています。それは人々の価値観の多様化とあいまって、従来の価値観では対応しきれない複雑な倫理的問題を生じさせるようになりまし。精神科である当院においては、脳死判定や遺伝子操作など人間の生死を左右するよう倫理的問題が発生することは殆どありません。しかし、人権に関わる問題や、生活の仕方あるいはどう生きていくのかというQOL(生活の質)に関わる問題に直面することがあります。

従来は、これらの倫理的問題に対してはヘルシンキ宣言を基本とし、また、日本精神科病院協会や日本精神科看護技術協会など、精神科医療の専門職能団体の倫理綱領を参

考にそれぞれの専門職種ごとに対処してまいりました。しかし、最近では医療従事者の価値観も多様化してきており、多職種で組織的に検討していかないと問題解決が困難になる場合もあります。

## 倫理的問題に関する院内の各種規定について

そこで平成18年4月に院内の倫理的問題の組織的な検討の場として、倫理委員会を設置しました。そして「患者さんの権利と責任」「医の倫理綱領」「医療従事者の倫理規定」「臨床研究に関する倫理規定」を作成しました。

今後はこの方針に基づいて当院職員の倫理的感受性を高められるよう教育研修を行い、問題解決に向けて倫理的行動力の向上をはかっていきたいと考えています。

(倫理委員会 木落勇三)

### 患者さんの権利

- 人間としての尊厳が認められる権利
- 治療を選択し、自己決定する権利
- 平等に医療を受けられる権利
- 治療スタッフを知る権利
- 十分な説明を受け、知る権利
- 個人情報の秘密が厳守される権利

### 患者さんの責任

- 治療上のルールを守り、治療に参加する責任
- 治療上で必要な情報を提供する責任
- 医療費を支払う責任

### 編集・発行 /



神経科・精神科  
医療法人 成精会

# 刈谷病院

〒448-0851 愛知県刈谷市神田町2-30

TEL (0566) 21-3511

FAX (0566) 21-3536

http://www.kariya-hp.or.jp

携帯HP http://www.kariya-hp.or.jp/i/



- JR東海道線刈谷駅南口下車 徒歩10分
- 名鉄三河線刈谷駅南口下車 徒歩10分

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。病院広報誌「ハーモネット」も今回第2号を発行することができました。季刊誌では、皆さまに役立つ情報をいち早くお知らせできるように、心がけています。多くの患者さまにとってよりよい医療を提供できるように頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(広報委員会 磯部ひづる)